

鍵山掃除道に学ぶ「生き方」 【あいうえお】【かきくけこ】

熊本県

蓼田^{みのだ}
修治^{しゅうじ}



私は仕事のやりがいや生きがいについて悩み、何かしたいと思っていたときに、トイレ掃除のことを知りたいと思いました。

2004年、熊本イェローハットのビルのレストラン「ティア」でランチをいただいで、元岡健二社長に声をかけました。

話をうかがううちに、「素の自分」、すなわち正直で素直な自分に出逢ったような気がして、心のもやが晴れていきました。「やってみよう！」そして、熊本掃除

に学ぶ会によるわが母校熊本国府高校体育館での早朝トイレ掃除に参加しました。その後も参加していると、少しずつ心が磨かれてきたように感じました。

掃除をしながら、人生哲学造語「あいうえお言葉」をつくりました。

「あ」焦らず、「い」威張らず、「う」うらやまず、「え」笑顔を絶やさず、「お」怠らず

「か」感じて、「き」気づいて、「く」工夫し、「け」継続してこそ、「こ」効果が出る

そして、人生のキー(鍵)ワー

ドが、「二つ拾えば ひとつだけきれいになる」

一つ拾えば一つだけ積み重なっていき(山)、やがて自分の心も磨かれる。

「誰かがやらねば、せめて私ができることを、少しずつ」

このような思いで5年・10年と続けていて、「よしこれだ!」と実感・確信するようになりました。

熊本掃除に学ぶ会は、鍵山哲学を学ぶ「不易流行の会」を前身とし、1998年設立。2017年私が代表世話人を継ぎました。

会が高齢化で活動はままなりません。個人的には勤務先国府高のトイレ掃除を10年以上続け、月に1度J R新水前寺駅の早朝掃除も始めました。

(861-0061熊本県熊本市西区上高橋2-16-16)

ふしぎな力がある掃除

山梨県

前濱^{まえはま}

勝^{かつ}二^じ



トイレ掃除は、2001年業務命令で嫌々参加した山形掃除に学ぶ会が最初でした。「はい、前濱さん、右から3番目の小便器です」と言われ、よくわからないまま、教わった通り水濾しを「よいしょ」と取った途端、あの何とも言えない悪臭が脳天をつきやぶりました。「おいおい、これを素手で磨く

の」とのけぞりました。大げさかもしれませんが、私の人生でこのトイレ掃除ほど「衝撃と達成感、爽やか感」を得たことはありませんでした。

それまでの私は、何かしようとすると、結果を先に考えて一歩を踏み出すことができませんでした。しかし、掃除に学ぶ会に参加するようになってからは、何でもできそうな気持ちになり、前向きになる自分がありました。そのやる気は時間とともに薄れても、トイレ掃除をするとまた力がわき上がって来るのです。

それからは、心が萎えてきたときに、一人で近くの公園のトイレ掃除をするようになり、それがいつしか習慣になりました。

当初、妻は「よそのトイレを掃

除して何が面白いの」とぶつぶつ言っていました。そのうち気持ちよく送り出してくれるようになりました。掃除に学ぶ会で教わった話や鍵山相談役の講話を得意気に話したときに、妻はニコツとして「家でも同じようにしてね」だって！これが魂胆だったのかと気付いたのは、後の祭りでした。

近年妻と毎日散歩をしています。私が空缶やペットボトルを拾いながら、「ゴミを拾う人はゴミを捨てない」とつぶやくと、「恥ずかしいから止めなさい」と叱られています。しかし続けているうちに、何と妻もゴミを拾うようになったのです。嬉しくなりました。掃除には、人の心を変えるふしぎな力がありますね。

(400 0404 山梨県南アルプス市古市場250-3)

そうじ

山梨卓

清水しみず 徹とおる

今30年を振り返りますと鍵山相談役との出会いをはじめ、ルーマニア、ハンガリー、イタリヤ、台湾、伊勢神宮、東照宮、国会、全国や県内の小中高高等学校等々での活動が、頭の中を駆け巡ってきます。

その中で私が山梨県警察学校長在任中に開催した、警察学校掃除に学ぶ会に参加した警察学校の生徒の感想文集の中から紹介させていただきます。

「トイレ掃除を通じて何を学ぶことができるか、私は少し期待を

持って参加させていただきました。結果は、期待以上の形にできない素晴らしい想いを学ぶことができました。最初に、参加してくださいました掃除の会の皆様は使うことではないであろう警察学校のトイレを、私たち以上に真剣に掃除をしている姿は、本当に感動しました。

私は小便器を担当したのですが、掃除をしているうちに夢中になってきて、一つひとつの小さな汚れが気になり始めました。普段は見逃しているような小さな汚れも落としていくと、少しずつ『やった、きれいになった』と嬉しい気持ちになり、いつのまにか、便器をしっかりと握りしめ、かじりつくように掃除をしています。時間もあつという間に過ぎ楽

しく掃除ができました。掃除を始める前より輝いている便器を見たときは、清々しい気持ちになりました。

私も将来、交番や駐在所勤務になったときは、トイレだけでなく周辺の清掃もしたいと思いました。手始めに、家に帰ったときは、自分の家のトイレを輝くぐらい磨きたいと思います。繰り返しやって人間としても成長できるようにやっています」

この文集を読むたびに掃除の素晴らしさを感じてなりません。この文集ができたのは鍵山秀三郎相談役とのご縁のお陰です。私の一番、最も尊い出逢いは鍵山秀三郎相談役に巡り会えたことです。

やはり十年かかりました

岡山県

高橋

啓一



私どもは「すし遊館」という回転寿司を営業しています。1992年、松下政経塾での上甲晃先生の志ネットワーク第1回会合で、鍵山相談役にお目にかかりました。

「高橋さん、急がなくてもゆっくりでいいですよ」とお言葉をい

ただき、本社事務所のトイレから始めました。鍵山様から「喜んでするとよい」と伺いましたので、ただ黙々と掃除しておりました。

10年が経過したころ、営業部長が自主的に参加してくれるようになりしました。

私ども飲食店、接客業にとつて、3S（整理・整頓・清掃）は基本です。お家でのトイレ清掃に比べれば、「きれいですね」ですが、とにかく「感動」のレベルのトイレにしたいと思いました。お店のトイレもきれいにできていないのに、「掃除に学ぶ会」に参加するわけにはいかないと思っていました。

当時の全店舗（現在9）がそのレベルになったのを見届け、2002年小西敏之氏代表の「岡山掃除に学ぶ会」に参加いたしま

した。

それから、マネージャーや各店長にも掃除に学ぶ会に参加してもらうようになり、彼らは自店のトイレ清掃に取り組んでくれるようになりしました。

私たちは、岡山掃除に学ぶ会で約20年、月例会と隔月の日曜日に早朝倉敷駅前の街頭清掃を行っています。主に岡山県南ですが、県北も含めて幼稚園、小・中・高の学校を回らせていただいています。

倉敷市の新任教師研修にも取り入れられ、10年近く毎回約90名参加されます。岡山県倫理法人会の方々も参加くださるようになり、心強く思っています。これからも、ライフワークとして取り組んでまいります。

(〒712-8044 岡山県倉敷市東塚4丁目9-32)

志は師によって立つ

兵庫県

木南 きみなみ

一志 かずし



師という存在を掃除から得ることができた。その存在がいかに大きなものであつたかを実感するまで随分と時間が必要だった。

出会いをいただいた当初、会うたびに少し前とは違うなと感じて、何度目かには相談役も成長されているのだ、流石に立派な人は

違うなと勝手に理解していた。その本当の深さを理解できたのは十年も過ぎてからであつたと思う。

徹底した掃除は、やった人にだけ気づきを与えてくれる。小さな実践が、少しずつ積み上がることで大きくなっていくと、身体を通じて学びとなっていく。学校のように成績が点数で表示されるわけではない。出来がいいか悪いか、本気で取り組んだかどうか、それを知っているのは自分だけなのだ。

仲間とやる掃除は、力足らずでも反省会で良いところを見つけてほめてもらえる。大人も子ども、ほめられると嬉しいから続けていくことができる。一人でやる掃除は、常に課題と向き合いながら自分をどう認めていくか。厳し

いばかりだと解決しない。やる氣も失せる。自分に甘いと、仕上げが雑になる。さながら作品を創り出す芸術家のようなところがあると感じる。

「美学」が必要と話されている。たとえて言うなら石庭のようなもので、掃除をした後の味わい深さは言葉にはできないところがあると、二十年の実践を越えてようやくわかり始めた。

何も付け足さない、ただそのもの持てる役割りを充分に引き出したときに輝きたすのだ。

尊敬できる師を見上げた、その先にある星こそが「志」といえる。掃除は、足元の実践を通じて北極星のように人生を導き輝かせていくのだ。

(679・434兵庫県たつの市新宮町大屋668・12)

なんのためにお掃除なのか

大阪府

町田^{まちだ}

豊彦^{とよひこ}



2006年、業績悪化で社員の離職に悩む私に、友人が月刊『致知』の記事のコピーをくれました。「社員の心のすさみをなくすために、徹底したトイレ掃除を一人で続けられた」鍵山相談役の話でした。

さらに森信三先生の職場再建

の三原則、「時を守り、場を清め、礼を正す」に出会い、もうこれしかないトイレ掃除を始めました。続けるうちに、根性論で業績を追っていた私の心に、傲慢さ、自己中心的な考え方が見えきました。基本を徹底する仕事の仕方へ変えていき、社員への感謝の言葉が増えました。

2016年、寺田一清先生ゆかりの人間学塾中之島に入塾し、そのご縁で「大阪掃除に学ぶ会」に参加しました。それは目から鱗の感動でした。その後のことは、「ご縁の不思議」を思わずにはいられません。

2021年「実践人の家」の理事、「尼崎不尽掃除に学ぶ会」の代表世話人を拝命しました。

「実践人の家」の側溝のグレー

チングのお掃除をしたときのことでです。十分計画したつもりでしたが、汚泥をシートに上げる作業と分別に予想以上に時間がかかり、結局道路や側溝の水洗いはおろか、閉会式もできませんでした。一気に仕上げようとの結果に思いが走りすぎ、一番大切な「掃除に学ぶ」を忘れていたと思います。範囲を限定して二人一組で進めれば、丁寧な掃除ができたはずです。

鍵山相談役の教え、「掃除のコツは範囲を限定して徹底すること」を学びました。なんのためにお掃除なのか、これからも謙虚に心を磨く訓練として掃除に学び、道友とのご縁を深めていきたいと思えます。

(5610853大阪府豊中市服部南町2-11-18)

おそうじの功德

愛知県

塚本つかもと

恵昭よしあき



1993年11月7、8日、大正村での第一回掃除に学ぶ会に参加したのが、つい昨日のことのようです。あの鮮烈な感激は、今も忘れることはできません。

スポンジやタワシ、サンドメツ

シュなどの道具の一つひとつの扱い方から、便器を素手で徹底的に磨きあげることなどは人生初体験であり、それは衝撃でした。

「床にしつかり手をつき、身を屈し磨くことは問題に近づくことです」と鍵山相談役に教えていただき、掃除も人生も同じなんだと、改めて掃除の深さに気づくことができました。

その後各地の活動に参加しました。掃除をした後の美しさや清浄さに、いつも感動しましたし、一緒に掃除をした生徒さん的一所懸命の姿も印象的でした。終了後にいただくおにぎりやカレーはおいしかったです。

掃除行を積み重ねていく中で、ゴミ一つ捨てられない―場を汚せない、そんな自分を発見しまし

た。次には、それは自然の成りゆきでしたが、駅や公園のトイレ掃除にまで展開していく自分自身の変容は驚くほどでした。

まだ暗い中、タワシやスポンジ、ドライバー、カネヨンなどの七つ道具入りのリュックを背負って自転車に乗り、会場に通ったことも忘れられない思い出です。公園のトイレ掃除では不審がられ、名前と住所を尋ねられたり、駅のトイレでは、不審者にみられないよう気も配りました。

30年前には、今のよう全国各地で活動が活発になるなど、とても考えられませんでした。同じ志を持った人々と交流が広まり深まっていったこともお掃除の功德だと、感謝の30年です。

(454-0932名古屋市中川区中島新町2-801-7-812)

発足時の感動を胸に10年

愛媛県 毛利 久美子



2005年ころから夫婦で徳島掃除に学ぶ会に参加し始め、私たちの町のトイレを磨きたいね、と話すようになりました。愛媛の田中正志代表と徳島の鍛谷幸一代表からは、「全面協力します」といわれました。

2012年、四国中央掃除に学ぶ会発足。鍵山相談役や、徳島や愛媛、広島、岡山などから大勢来てくださり、四国中央市では、市長、教育長、衆議院議員らが参加し、記念講演は300名、掃除実習は120名：今思うと、鍵山秀三郎という看板に多くの人が集まった宝物のような時間でした。

相談役は、「今回は大勢集まりましたが、一旦小さくなります。しかし続けてください」と、終始にこやかに話されました。以降、市と教育委員会の後援をいただき、徳島と愛媛の会には全面的にサポートいただいています。

トイレ掃除をすると、心が落ち着きます。日々の生活で付く心の垢は、水濾しの水垢と同じです。磨けばきれいになります。

最近主人と近くの河川敷のゴミを週に一度拾っています。山のようにあったゴミも、半年たつと随分きれいになりました。

相談役は「河川敷のゴミを拾ってください、ありがとうございます」と、ハガキをくださいます。田中顧問も、岐阜から励ましてくださいます。掃除をしていなければ、出会うことのなかった方たちです。多くの方々とご縁ができました。

現在、コロナ禍で学校掃除ができませんが、毎月少人数でも市内の公園のトイレ掃除や街頭清掃を行っています。

今年10年目、メンバーも若返りました。発足時の思いや感謝の心を忘れずに活動を続けます。

(799-0101愛媛県四国中央市川之江町51-1103)